

事務事業名	水道施設運転維持管理事業			担当	水道部 水道課 浄水係			
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			電話番号	0285-83-8697		
施策名	1	水道事業の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和39 年度～）			
予算科目	12.水道事業会計	2.水道事業費用	1.営業費用		2.配水及び給水費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	<p>真岡市水道事業は、昭和39年4月から荒町配水場において配水を開始し、現在7箇所の浄水施設からの配水と県水を受水し、安全で安定した水の供給を実施している。（石法寺浄水場・荒町配水場・大谷台配水場・西田井浄水場・京泉浄水場・台町水源地・大田山水源地）平成12年3月に東部簡易水道・北部簡易水道を統合して、給水区域は一部を残し市内全域に配水している。第3次拡張事業により、目標年次、平成25年度において真岡市行政区域内全域を給水区域とし、給水人口69,889人・1日最大給水量23,812立米を目標に実施している。また、平成21年度より、二宮水道事業（計画給水人口8,200人・1日最大給水量3,300立米）及び二宮東部簡易水道事業（計画給水人口2,000人・1日最大給水量1,150立米）を加えて実施している。</p>							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
22年度実績 1)ポンプ取水 2)浄水(薬品消毒)+県水受水 3)配水石法寺(4,589,218立米)・荒町(344,482立米)・大谷台(348,110立米)・西田井(201,937立米)・京泉(312,317立米)・台町(327,484立米)・大田山(294,683立米)・久下田(771,288立米)・三谷(144,001立米)		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
23年度計画 1)ポンプ取水 2)浄水(薬品消毒)+県水受水 3)配水石法寺(4,551,000立米)・荒町(341,700立米)・大谷台(345,300立米)・西田井(200,300立米)・京泉(309,700立米)・台町(324,800立米)・大田山(292,300立米)・久下田(764,900立米)・三谷(147,300立米)		ア:配水量	立米	6,637,379	6,648,127	7,162,462	7,333,520	7,277,300
②対象(誰、何を対象にしているのか)※人や自然資源等 配水施設		⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア:安定した供給ができる配水施設の数	箇所	7	7	9	9	9
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 配水施設の安定した運転		⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移						
		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア:安全運転をした施設数	箇所	7	7	9	9	9
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 清浄でおいしく、豊富で安全な水を安定供給する。		⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移						
		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア:給水人口	人	61,452	68,841	69,188	67,751	68,300
		イ:普及率	%	92.0	82.6	83.4	82.0	83.2
(2) 総事業費の推移		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	92,582	98,684	107,629	115,932	0
		一般財源	千円	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	千円	92,582	98,684	107,629	115,932	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	0
		延べ業務時間	時間	364	364	364	264	0
		人件費計(B)	千円	1,525	1,521	1,476	1,127	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	94,107	100,205	109,105	117,059	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	安全で衛生的な水道水の供給を図るため。
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	人口の増加により利用者数も増加している。
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 利用者に安全で安定した水道水を供給している。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 利用者に安全な水道水を供給することが、事業者の責任である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 現施設において安定供給を図っている。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 運転管理委託をして、安定運転をしている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ライフラインである上水道を廃止及び休止できない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 削減すると安定供給が図れない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 既に水道施設の運転管理は、民間委託を実施しており人件費の削減を図っている。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 利用者が水道使用料により公平な負担をしている。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							